



Aobayama Concert

第7回 青葉山コンサート プログラム

2018年4月20日（金）17:30-19:00（開場 17:00）

東北大学 青葉山キャンパス 工学研究科 青葉記念会館

青葉山コンサートなる催物は、噂では聞いたことはありましたが、既に約2年6回の歴史を刻んでおられるとは全く存じませんでした。契機は平成28年2月に青葉記念会館1階にピアノが整備されたことによるそうですが、確かにそれ以来は、昼休みや夕刻に名曲を奏でる学生さんの姿をしばしば拝見していました。ある時、先端研究で名をばせておられる先生方が、学生さんのピアノに合わせてチェロやバイオリンなどを弾いておられる場面に遭遇しました。皆さんの意外な一面を垣間見、何だか得をしたような気分になりました。一流の研究者になるためには芸達者であることも必要要素なのかもしれませんね。青葉山コンサートが研究力向上に一役買うことを祈念いたします。

工学研究科長・工学部長 長坂 徹也

第1部

荒館 笙 (Pf)

工学部 4年

主よ、人の望みの喜びよ BWV147 / Johann Sebastian Bach 作曲

この曲は、1723年にJ.S.バッハによって教会音楽の一曲として作曲されました。その穏やかな調性は賛美歌としてのみならず、今日多くの人に親しまれています。今回は、マイラ・ヘスによるピアノ編曲版を演奏します。

井樋 慶一 (Pf)

情報科学研究科 教員

平均律クラヴィーア曲集 第1巻 第2番 前奏曲とフーガ ハ短調
BWV847 / Johann Sebastian Bach 作曲

ピアノソナタ ハ長調 KV 330 第1楽章 アレグロ モデラート /
Wolfgang Amadeus Mozart 作曲

前奏曲とフーガ ハ短調：ハ短調の第2番は劇的要素を含んだ名曲で、バッハの曲全てにあてはまることではありませんが、楽譜の中から汲めども尽きせぬものが限りなく溢れてきます。

ソナタ ハ長調：最初何となく弾いているうちはわからないのですが、ある日モーツァルトの隠し味に気付くととても嬉しくなります。

中山 貴史 (Gt弾き語り)

理学研究科 技術職員

糸 / 中島みゆき 作詞・作曲

Black River / Amos Lee 作詞・作曲

糸：歌詞のイメージから結婚式で使われることも多い楽曲。Bank Bandによるカバーアレンジでお届けします。

Black River：しっとりとしたブルース。流れゆく川に、Take my cares away（僕の悩みを流し去っておくれ）と願う心情が描写されています。

田原 靖彦 (Mn)

工学研究科 OB

阿部 玲子 (Pf) 賛助

タイスの瞑想曲 / Jules Emile Frédéric Massenet 作曲

チャルダッシュ / Vittorio Monti 作曲

バイオリン演奏でお馴染みのクラシックの小品二曲をマンドリンで演奏します。「チャルダッシュ」はアンコールピースの定番ですが、実は、作曲者のVittorio Montiはマンドリン奏者で、この曲も、当初はマンドリンのために書かれています。従って、今回はオリジナル楽器による演奏となります。

Duo シンフォニエッタ

小宮 慎司 (Vc)

法学研究科 教員

阿部 玲子 (Pf) 賛助

リベルタンゴ / Astor Piazzolla 作曲

某CMでの世界的チェリスト、ヨーヨー・マの演奏によって一躍有名になった曲です。「自由(リベルタ)」と「タンゴ」とを組み合わせて名づけられたそうですが、そういった雰囲気が出せればと思います。

休憩

第 2 部

加藤 由樹 (Pf)

工学部 3 年

即興曲 Op. 90-2 / Franz Peter Schubert 作曲

この曲は三部形式となっており、前半部では三連符のパスセージがめまぐるしく動きまわり、中間部は口短調で始まり近親調での転調が繰り返されます。後半部では前半部が繰り返されて終止するかに思われたところへ再び中間部があらわれてコーダを形成します。

電子・建築系ギターデュオ

川又 政征 (Gt)

工学研究科 教員

佐久間 友梨 (Gt)

工学研究科 前期1年

練習曲 口短調 Op. 35-22 「月光」 / Fernando Sor 作曲 /

Daniel Fortea 編曲

ソナタ ニ長調 第1楽章 アレグロ /

Christian Gottlieb Scheidler 作曲

古典派時代のギター二重奏曲を演奏します。練習曲は、ソロの原曲にメロディをつけた編曲版です。ソナタは、マンドリン、バイオリン、フルートなどの単音楽器とギターの組み合わせでも演奏される曲です。ソロの演奏が多いクラシックギターですが、二重奏は効果2倍、楽しさ4倍です。

中田 俊彦 (Pf)

工学研究科 教員

ピアノソナタ 第8番 ハ短調 Op. 13 「悲愴」 第2楽章 /

Ludwig van Beethoven 作曲

切ないが美しいフレーズが一貫する三部形式。中間部では、三連符の伴奏の上で、メロディーが乗る。演奏する自分まで癒やされる名曲。

佐藤 達也 (Pf)

情報科学研究科 教員

Darn That Dream / Jimmy van Heusen 作曲

1940年、Benny Goodman 楽団で演奏されたバラード。昔好きだった人の夢を今でも見てしまう、という歌詞がついています。Chet Baker、Dexter Gordon、Bill Evans 等、数多くの名演があります。

マンドリン楽部アンサンブル

関 鴻介 (Mn1) 文学部 3 年

本間 可奈 (Mn2) 文学部 3 年

臼井 健 (Gt) 理学部 3 年

佐藤 大暉 (Md) 理学部 3 年

石川 夏未 (Mc) 経済学部 3 年

吉川 叶恵 (Cb) 文学部 3 年

Lemon / 米津玄師 作曲

Ultra soul / B'z 作曲

私達マンドリン楽部は、5月と12月の年二回演奏会を行っており、日々、練習に励んでおります。クラシックやマンドリン曲だけでなく吹奏楽曲やポップスなどマンドリンは演奏分野が幅広くとても魅力的です。今回は米津玄師の「Lemon」と B'z の「Ultra soul」をお聞きいただき、少しでもマンドリンの良さを感じていただけたら幸いです。

青葉記念会館のグランドピアノは、震災後5年を経た2016年3月に心の復興のために機械系同窓会が寄贈したものです。

(使用可能時間：平日 9:30-19:30)

協力：工学部事務簿 総務課、施設管理室

青葉山コンサート実行委員会

村田 智、中田 俊彦、桑野 博喜

川又 政征、井樋 慶一、佐藤 達也

中村 肇、田原 靖彦

青葉山コンサートホームページ

<http://www.bio.is.tohoku.ac.jp/~aobayama/>

シンボルマーク・ロゴタイプデザイン 笹川 瑛貴

プログラムデザイン・編集 川又 政征

2018. 4. 20

